

資料名	年代	寄贈者
マジオリカ陶器 色絵フォグリー文 アルバレルロ	17 世紀・江戸時代	森忠彦氏
鳥形埴輪	古墳時代	全田昇氏
合子形埴輪	古墳時代	全田昇氏
林市蔵肖像写真	昭和時代	林勲男氏
Scrap Book	大正～昭和時代	林勲男氏
林市蔵先生記念像完成記念寿恵広	昭和 28 年（1953）	林勲男氏
山県有朋書簡（林市蔵宛）	大正 6 年（1917）	林勲男氏
戦闘機図袖無半纏	昭和戦前期	覺心宏和氏
青海波に宝船図袖無半纏	昭和戦前期	覺心宏和氏
青紫地玩具図袖無半纏	昭和戦前期	覺心宏和氏
雛膳椀添	文久 3 年（1863）	三好智子氏
雛用茶道具一式		三好智子氏
鉄小風炉肩衝釜添	安政 3 年（1857）	三好智子氏
琴		三好智子氏
市松地唐子遊図一ツ身着物	昭和戦前期	覺心宏和氏
薄紅地斜め格子に花丸紋一ツ身着物	昭和戦前期	覺心宏和氏
段替わりに丸紋一ツ身着物	昭和戦前期	覺心宏和氏
宮里瓢箪筆 狂歌「七十と」	明治 12 年（1879）	三好智子氏
菰鶴堂筆三行書	江戸時代	中蔦ちせ子氏
河鍋狂斎筆福祿寿図	幕末～明治期	中蔦ちせ子氏
姫島竹亭筆金魚図	大正 14 年（1925）	中蔦ちせ子氏
北野恒富筆宝船図	明治～大正期	中蔦ちせ子氏
唐箕	嘉永 4 年（1851）	公益財団法人 平野区画整理記念会館
石原ビルディングエレベータ表示板	昭和 14 年（1939）	石原実氏
美津濃株式会社 確認申請図	昭和 31 年～ 37 年（1956～1962）	淀屋橋駅西地区市街地再開発組合
美津濃株式会社 確認通知書	昭和 35 年（1960）	淀屋橋駅西地区市街地再開発組合
美津濃株式会社 各階平面図	昭和 52 年（1977）	淀屋橋駅西地区市街地再開発組合
美津濃株式会社 本館外装改装図	昭和時代	淀屋橋駅西地区市街地再開発組合
美津濃株式会社 中央館増築工事	昭和 34 年（1959）	淀屋橋駅西地区市街地再開発組合
美津濃株式会社 立面図・断面図	昭和時代	淀屋橋駅西地区市街地再開発組合
美津濃株式会社 平面図・立面図	昭和 34 年（1959）	淀屋橋駅西地区市街地再開発組合
美津濃株式会社 北面増築図面	昭和 37 年（1962）	淀屋橋駅西地区市街地再開発組合
美津濃株式会社 サッシ・ドア・シャッター図	昭和 38 年（1963）	淀屋橋駅西地区市街地再開発組合

至 中之島
至 淀屋橋

天海橋

京阪電車

JR東西線

京橋

京橋駅

Osaka Metro
長堀鶴見緑地線

至 出町柳

Osaka Metro
谷町線

大坂歴史博物館

大阪城公園

JR大阪環状線

大坂城公園駅

T23 谷町四丁目

谷町四丁目

森ノ宮

Osaka Metro中央線

阪神高速

中央大通

法門坂出口

難波宮跡公園

上町筋

玉造筋

森ノ宮駅



大阪歴史博物館
Osaka Museum of History

2024
7/10(水)
-9/2(月)

特集
展示

新収品 お披露目展

— 令和4年度・5年度の新収品を中心に —

会場
8階 特集展示室

通意悠々心自閑
小舟しるおの在るうき世に極中

大阪歴史博物館では開館以来、大阪を中心とする地域の歴史と文化を広く市民に紹介し、理解を深めていただくことを事業運営の基本方針としています。この基本方針に沿った資料の収集は博物館活動の根幹でもあり、当館では毎年、市民の皆様からご寄贈いただいたさまざまな資料を保管し、研究や展示等に活用しています。

今回の展示では、新たに館蔵品となった多くのご寄贈品のなかから、令和4年度、令和5年度分の新収品を中心にご紹介します。

主な展示資料（すべて大阪歴史博物館蔵）



いしはら
石原ビルディングエレベータ表示板
昭和14年（1939） 石原実氏寄贈

アール・デコ調のデザインが特徴のエレベータ昇降表示板です。設置されていた石原ビルディングは石原時計店が建てた賃貸ビルで、昭和14年（1939）の竣工から令和3年（2021）の再開発工事まで、大阪市北区の淀屋橋南詰交差点に建つランドマークでした。

あつら
段替わりに丸紋一ツ身着物
昭和時代 覺心宏和氏寄贈

昭和18年（1943）に生まれた男の子のために^{あつら}誂えられた夏の衣料です。着物全体に配された大小の丸紋は、あたかも水中をたゆたう泡のごとく見えます。泡のなかに描き出される立派な建物やサンゴなどは竜宮城やその宝物なのでしょうか。関西らしい元気な印象を与えてくれる作品です。



鳥形埴輪
古墳時代 全田昇氏寄贈

鳥形の埴輪は水鳥かニワトリが一般的です。本資料は縦に広い尾羽や水かきのない脚の形からニワトリと考えられます。ニワトリは霊的な力を持つ動物とされ、動物を象った埴輪の中では最も古くから事例があります。本資料は大阪市平野区で出土しており、出土地の近くには5世紀の築造とされる花塚山古墳があります。古墳の本格的な調査はされていませんが、埴輪との関係性が推測されます。

やまがた ありとも はやしいちぞう
山県有朋書簡（林市蔵宛）
大正6年（1917） 林勲男氏寄贈

大阪府知事として方面委員制度の創設などに携わった林市蔵が、山口県知事時代に当時枢密院議長であった山県有朋から受け取った書簡です。山県はこのなかで、林が県内の青年団指導に尽力したことを称賛しています。



ひめじま ちくてい
金魚図 姫島竹亭筆
大正14年（1925） 中嶋ちせ子氏寄贈

悠々と泳ぐ二匹の金魚（ランチュウ）を描いています。姫島竹亭（1895～1945）は南画家であった父・姫島竹外（1840～1928）に学び、自身も画家として活動しました。「適意悠々心自閑」の賛には、まさに水中で悠々と泳ぐ金魚の姿が投影されているのでしょうか。

